

令和7年度 事業計画

日本の人口は2010年を境に減少を続けており、2025年には「団塊の世代」（1947～1949年生まれ）が後期高齢者となり、国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。75歳以上になると病気やけがのリスクが高まるため、健康でいきいきと暮らすためには、元気なうちから健康づくりやフレイル予防に取り組むことが重要です。

シルバー人材センターへの入会は、社会とのつながりを持ち、友人・知人との会話量を増やし、生活範囲を広げるための活動に役立っています。

その中で、安全就業はシルバー人材センターの最重要課題の1つです。「事故のない就業を通じて、自らの健康につなげること」が目標であり、全会員が健康管理および安全の確保に努めることが求められます。「安全はすべてに優先する」という理念のもと、安全就業基準を遵守し、事故ゼロを目指します。

さらに、昨年施行された「フリーランス法」に適切に対応するため、新たな契約方式への円滑な移行を進め、スマートフォンなどを活用して会員に就業情報や業務連絡を提供し、デジタルを活用した利便性の向上と事業の効率化を図ります。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」の精神のもと、各会員がそれぞれの役割を果たすことで、より良い社会が実現可能となります。本年も「会員拡大」「就業の増強」「安全就業への取り組み」「財政基盤の確立」に基づいた事業を実施し、市民の皆様の期待に応える公益法人として信頼され、愛されるシルバー人材センターを目指して、会員・役職員一体となり事業を推進してまいります。

1. 会員拡大

- 広報誌「さかい」や新聞広告といった従来の広告に加え、ホームページやインスタグラムで事業活動を紹介し、興味をひくセンターの活動を発信します。
また、会員紹介キャンペーンを企画し、入会勧誘を行います。
- 昨年発足した「すみれの会」（女性活躍チーム）を中心に、女性が興味をひくイベントを開催し、口コミ効果を利用して女性の入会者を増やします。
- 入会者数が退会者数を上回るよう、入会促進だけでなく、既存会員の退会抑止のために、サロンやサークル活動など就業以外でも生きがいや仲間作りができるよう進めます。

2. 就業の増強

- 広報、チラシ配布、SNSなどを活用し、事業内容のPRやシルバー事業の活動事例を紹介して、就業募集に努めます。
- 介護、子育て支援、空き家管理、人手不足分野など地域課題の就業開拓や後継者の育成を行い、新たな事業にも取り組みます。
- スマートフォンを活用して迅速に就業情報を提供し、デジタル技術を活用することで情報を共有しやすくし、就業のミスマッチを抑えて、不調による就業断念を減らしていきます。

3. 安全就業への取り組み

- 安全に安心して就業できるよう、「安全パトロール」、「萌木だより」、「ショートメッセージサービス」を通じて適時注意喚起を行います。
- 草刈作業による飛び石事故を防止するため、事前確認や防止対策を行うとともに、飛び石が抑制できる草刈り刃への推奨・移行を進めます。
- 定期的な健康診断受診を奨励し、日頃から体調管理に留意し、就業時には体調や天候を考慮して判断します。
- 「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を遵守し、指揮命令が発生する就業については派遣業務への切り替えを行います。

4. 財政基盤の確立

- 公益社団法人としてのコンプライアンスを常に意識し、デジタル技術を活用して業務を効率化することにより、経費削減を図り、健全で安定した財政運営に努めます。
- 法人運営における国や市の補助金は重要な財源であるため、役職員が国や市に積極的に働きかけ、適正な補助金の確保に努めます。
- インボイス制度やフリーランス法に伴う新契約方式に対応し、発注者から継続的に、また新規に受注が得られるよう推進していきます。